

2025 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 臨床工学技士科(昼間部) |             | 科 目 区 分   | その他                   | 授業の方法             | 演習                            |
|---|--------------|-------------|---|-----------------------|-------------------|-------------------------------|
| 科 目 名   | プレゼンテーション演習  |             | 必修/選択の別   | 必修                    | 授業時数(単位数)         | 15 (1) 時間(単位)                 |
| 対 象 学 年   | 2年           |             | 学期及び曜時限   | 後期                    | 教室名               |                               |
| 担 当 教 員   | 片桐 伸将        | 実務経験とその関連資格 | 博士(工学), 職業訓練指導員免許(メカトロニクス等), 10年以上国立循環器病研究センター研究所にて医療機器の研究開発および1~5回/年程度の国内外学会発表 |                       |                   |                               |
| <b>《授業科目における学習内容》</b><br>医療機器・臨床工学技士の業務内容、臨床工学技士を取り巻く状況などから題材を選び、臨床工学の観点から研究に取り組む。研究課題を見つけることで、問題発見力、自発的行動力を身につける。研究課題に取り組むことで、問題解決能力を養うと同時に、キャリア教育としての人間力の育成を行う。チームとして取り組むことで、チームとして活動するための、リーダーシップ、協調性などを養う。研究の根幹である倫理観、学術的規範、研究手法を身に付ける。 |              |             |   |                       |                   |                               |
| <b>《成績評価の方法と基準》</b><br>授業態度: 10 %<br>参加度 : 20 %<br>作成した発表資料、発表に纏わるマナー、発表内容、質疑応答内容などによる総合評価: 70%   |              |             |   |                       |                   |                               |
| <b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b><br>各種参考文献、論文、配布資料  |              |             |   |                       |                   |                               |
| <b>《授業外における学習方法》</b><br>資料調査、資料作成   |              |             |   |                       |                   |                               |
| <b>《履修に当たっての留意点》</b><br>昨今の医療職は全般的に発表を行う機会が増えており、情報共有から学術研究まで幅広いジャンルでプレゼンテーション能力が求められています。資料作成だけでなく、慣れない口頭発表や質疑応答の能力を伸ばす良い機会だと思って、チャレンジして下さい。   |              |             |   |                       |                   |                               |
| 授業の方法   | 内 容          |             |   | 使用教材                  | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |                               |
| 第1回   | 講義形式         | 授業を通じての到達目標 | 臨床工学技士がプレゼンテーションを行う意義を知る。   | 配付資料                  |                   | 事前に他授業で用いた教科書や作成した資料を復習       |
|   |              | 各コマにおける授業予定 | オリエンテーション。プレゼンテーションの意義について説明を行う。  |                       |                   |                               |
| 第2回   | 講義形式         | 授業を通じての到達目標 | 目的や聴講者に応じたプレゼンテーションについて説明できる。   | 配付資料                  |                   | 事前に他授業で用いた教科書や作成した資料を復習       |
|   |              | 各コマにおける授業予定 | 医療機器に関する情報共有のためのプレゼンテーションと学術的な医学研究に関するプレゼンテーションについて説明を行う。                       |                       |                   |                               |
| 第3回   | 演習実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 計画力・立案力を得る。   | PMDA関係資料<br>各専門分野の教科書 |                   | 興味がある医療機器、それらを用いた治療に関する情報収集   |
|   |              | 各コマにおける授業予定 | これまでの相談内容を元に、研究計画の立案を行う。また研究課題に関する現状調査を行う。                                      |                       |                   |                               |
| 第4回   | 演習実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 考えをまとめ、理解力の向上を得る。基本的なプレゼン技術の知識を得る。  | 配付資料                  |                   | 医療機器や治療に関する情報収集、資料作成に用いるPCの準備 |
|   |              | 各コマにおける授業予定 | プレゼン指導。パワーポイントによる発表資料の作成を行う。  |                       |                   |                               |
| 第5回   | 演習実習形式       | 授業を通じての到達目標 | 学んだプレゼン技術の応用力を身に付ける。  | 配付資料                  |                   | 医療機器や治療に関する情報収集、資料作成に用いるPCの準備 |
|   |              | 各コマにおける授業予定 | プレゼン指導。パワーポイントによる発表資料の作成を行う。  |                       |                   |                               |

| 授業の方法 |                       | 内 容                                   | 使用教材                  | 授業以外での準備学習の具体的な内容            |
|-------|-----------------------|---------------------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 第6回   | 演習実習形式<br>授業を通じての到達目標 | プレゼンの経験を得ると同時に、短時間での理解力を得る。           | 発表資料                  | 自分の資料を熟読、適切な聴講マナーの復習、質疑応答の準備 |
|       | 各コマにおける授業予定           | 作成資料を用いた発表を行うと同時に、聴講マナーを守り、質疑応答を実践する。 |                       |                              |
| 第7回   | 演習実習形式<br>授業を通じての到達目標 | 聴講マナーを身に付ける。                          | PMDA関係資料<br>各専門分野の教科書 | 自分の資料を熟読、適切な聴講マナーの復習、質疑応答の準備 |
|       | 各コマにおける授業予定           | 作成資料を用いた発表を行うと同時に、聴講マナーを守り、質疑応答を実践する。 |                       |                              |
| 第8回   | 演習実習形式<br>授業を通じての到達目標 | 質疑応答に必要な探求力と関連知識の引用能力を得る。             | PMDA関係資料<br>各専門分野の教科書 | 自分の資料を熟読、適切な聴講マナーの復習、質疑応答の準備 |
|       | 各コマにおける授業予定           | 作成資料を用いた発表を行うと同時に、聴講マナーを守り、質疑応答を実践する。 |                       |                              |